

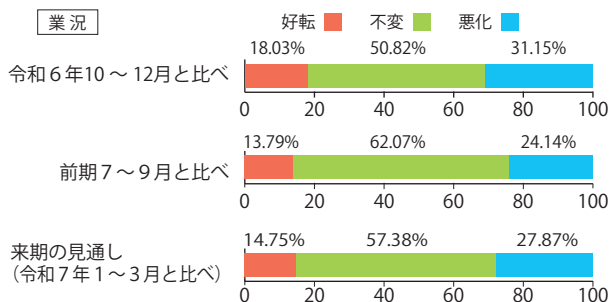
もりやま景況調査 令和7年10月～12月期

※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上 	10 以上 30 未満 	▲ 10 以上 10 未満 	▲ 30 以上 ▲ 10 未満 	▲ 30 未満 
-------	---	--	--	--	---

業況

前回調査 (令和7年7月～9月期) と比べてやや改善している。来季も横ばいの見通し。

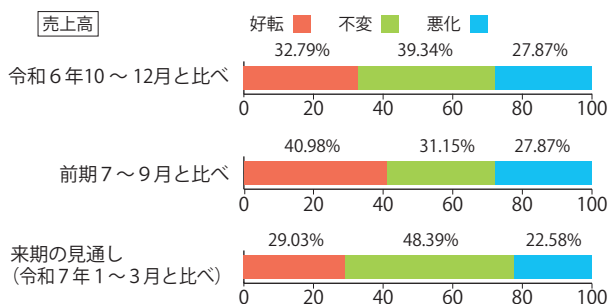


1～3月 昨年 同期との 比較	全体	▲ 13.1	
	小売業	▲ 7.1	
	製造業	▲ 23.1	
	建設業	▲ 41.7	
	サービス業	▲ 12.5	
	卸売業	50.0	

※業況DI(好転－悪化)は今期が▲13.1で、前回調査の▲17.7から4.6ポイント改善
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は▲13.1で、今期と比べ横ばいの見通し

売上高

前回調査 (令和7年7月～9月期) と比べてやや改善している。来季もやや改善の見通し。

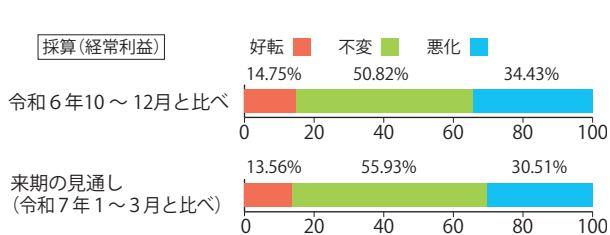


1～3月 昨年 同期との 比較	全体	4.9	
	小売業	14.3	
	製造業	0.0	
	建設業	▲ 27.3	
	サービス業	17.6	
	卸売業	16.7	

※売上高DI(好転－悪化)は今期が4.9で、前回調査の▲3.2から8.1ポイント改善
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は6.5で、今期より1.6ポイント改善の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和7年7月～9月期) と比べてやや改善している。来季もやや改善の見通し。



1～3月 昨年 同期との 比較	全体	▲ 19.7	
	小売業	▲ 28.6	
	製造業	▲ 30.8	
	建設業	▲ 25.0	
	サービス業	▲ 12.5	
	卸売業	16.7	

※採算DI (好転－悪化) は今期が▲19.7で、前回調査の▲21.3から1.6ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲16.9で、今期より2.8ポイント改善の見通し

国・県・市の経済対策、各種イベントや地域のトピック

- ・原材料の価格がアップしたが、価格転嫁ができていない。(小売業・製造業)
- ・原材料、人件費の価格がアップしたが、価格転嫁ができていない。(建設業)
- ・人材確保が難しいと同時に商品の納期遅延が悪影響をおよぼしている。(卸売業)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

